



# 図書館

(1999年8月)

## ニュース

### 目 次

\*\*\*\*\*

開館時間変更のお知らせ .....	231	雑誌紹介について.....	237
新図書館を利用して .....	233	新着図書 .....	238
文献検索ガイダンスの実施について .....	235	図書館日誌 .....	263
特別開館時間利用上のお願い .....	236	札幌医学雑誌の投稿受付 .....	264

\*\*\*\*\*

### 開館時間変更のお知らせ

夏季休業のため開館時間が変更となりますのでお知らせします。

	期 間	開館時間	特別開館時間
平日	8月 2日(月) ~ 8月31日(火)	9時00分 ~ 17時00分	17時15分 ~ 24時00分
	9月 1日(水) ~ 9月 3日(金)		
土日	8月 1日(日) ~ 9月 5日(日)		9時00分 ~ 24時00分

祝日は従来どおり休館となっております。

本誌では、外国雑誌に投稿された先生方の論文を紹介いたしております。ご希望の方は随時本誌編集担当の主査(2422)まで共著者名、論文名、雑誌名、巻・号・年月をお知らせ下さい。

#### 編集・発行 札幌医科大学附属図書館

(〒060-8556) 札幌市中央区南1条西17丁目  
TEL (011)611-2111(内2422)  
FAX (011)641-9646

附属図書館ホームページ

URL <http://www.sapmed.ac.jp/libr/>

## 新図書館を利用して

新図書館が6月11日(金)にオープンして約2ヶ月近くになりました。新しくなった図書館をどのように感じているかを、学生の皆さんの声を聞いてみました。

大学院保健医療学部研究科

看護学専攻2年 小島 悦子

待ちに待った新図書館のオープンである。なぜなら我々大学院生にとっては、図書館は毎日足を運ぶ場所だからである。新図書館は今まで本館・分室を含め3つに分散されていたものが1つに統合された。これにより異なる分野の本を全て1カ所で探すことができるようになった。また、IDカード方式の採用により、夜間だけでなく土日に利用することも可能になった。更に快適さを重視したスペースづくり、多数のコンピュータ導入により勉強しやすい空間を提供してくれている。快適さ・自由さ・充実さを兼ね備えた、利用者重視の図書館と言えるのではないだろうか。

医学部医学科

第6学年 菊池 仁

勉強をあまりせずに学生時代を過ごしてきた僕は、今までの図書館にあまり出入りすることは無かったのですが、今回新しく図書館に設置された情報コンセントの出現と、特別開館によって夜遅くまで図書館を利用できるということ、今ではほとんど毎日のように自分のコンピューターとともに、自由にインターネットを利用したり時には勉強したりと非常に快適、便利に図書館を利用させてもらっております。特に情報コンセントについては自分のノートパソコンが持ち込める

ので、図書館でインターネットを使って調べ

たデータをそのまま自宅に持って帰り、利用することもできとても重宝しております。勉強の方ですが、現在、多くの六年生が国家試験の勉強を図書館の閲覧機を用いて勉強させてもらっております。国家試験用の参考書などの蔵書が少ないのが気にかかりますが、これから増えていくというようなことを聞いておりますので、ますます学生にとって便利で使いやすい図書館になっていくのではないかと期待しております。

医学部医学科

第6学年 永井 美帆

以前の図書館は本館、分室、保健医療の図書室と3カ所に分かれていてちょっとわかりずらくて使いにくかったのですが、新図書館は本当に使い心地がいいです。たくさん設置してあるパソコンによりコンピュータ室や医局に行かなくても、文献検索、インターネット等自由に利用できるようになりましたし、利用時間が24時までと大幅にのびたことで、いつでも好きなときに利用できるというのも学生のみならず理想的な環境だと思います。また、自習用にたくさんの机が(居心地のいいイスも魅力)あるため、場所取りなどしなくても良い上、個別の机が多いので他の人を気にせず集中して勉強できるのが素晴らしいです。そのほか、学生用の教科書類も増えたようで、ポリクリの時に重宝しています。もう少し種類と数を増やしていただけると良いのですが・・・最後に開館式の時、秋野学長

が「これだけいい図書館なのだから、どんどん利用して国試全員合格するように」とおっしゃいましたが、やはり環境がいいとやる気もわいてきますので、きっと合格率にも反映するのではないのでしょうか？！

#### 医学部医学科

第5学年 及川 巧

「図書館の学問における重要性」と言われても新入生の頃はあまり実感が湧かなかったが、近頃はその「重要性」も少しずつ感じられるようになってきた。そんな視点からこの新図書館を見ると、閲覧席は増え、書架もよく整理され（冊数は不満だが）、情報検索も充実していて勉強しやすく、学生の一人としてはありがたい限りである。ただ、もっと贅沢を言うなら、夜間・休日の特別開館は全学年が利用できるようにして欲しい。「国家試験を控えた最高学年のみ利用可能」というのも分らないが、現医学部5学年の入学以降の新カリキュラムが「自学実習」を謳い文句にするからには、その「後押し」の意味でも対象学年の拡大は不可欠ではなかろうか。と、生意気なことを書いてしまったからには、立派な図書館に恥じぬよう勉強しなくては、と焦る今日この頃である。

#### 保健医療学部理学療法学科

第3学年 本田 淳一

まず感じたのは、‘とにかく広くて新しい’ということ。今までとは違い通路、書棚の間も十分なスペースがあり、閲覧席もたくさんある。また、IDカードや電動書架、自動貸出機など新しい技術の使用も目立つ。パソコン台数も大幅に増え、単行本・雑誌の検索が容易に行えるようになり、よく利用している。しかし、改善してほしい点もある。一つは、コピー機が2台しかないこと。とても回転が遅く、急ぐときは特に困ってしまう。早いうちに台数を増やすべきではないだろうか。また、返却手続きが円滑に行われないことがあり、返したはずの本を探すなどといったこともあった。これらのことが改善されることを願う。これからも、図書館の正しい利用法を守りつつ、十分に活用していきたい。

#### 保健医療学部看護学科

第2学年 芹田 和子

新しい図書館は勉強に最適な環境です。館内は全体的に木目調でおちつきや安らぎを与えてくれます。勉強のためのスペースや照明も十分にあり静かで集中できます。また、以前保健医療学部分室は午後5時で閉館する日もありましたが、開館時間も午後8時まで利用できるようになり、演習や実習の後に図書館を利用できるようになりました。医学や保健医療学部の雑誌の他に音楽・建築・料理の雑誌など他分野の雑誌が増えたこともうれしいことで、私は音楽雑誌を毎回楽しみにしています。

新図書館の開館にあたって保健医療学部分室の閉鎖など惜しまれることもありましたが、これからは新図書館を大いに活用していきたいと思っています。

## 文献検索ガイダンスの実施について

図書館において文献検索ガイダンスを8月より受付開始いたします。3名から8名程度のグループで学内の方ならどなたでも予約申込みができます。下記のとおり文献検索から学外文献申込み方法の一連した内容で開催いたします。MEDLINE や医学中央雑誌の検索方法がわからないあるいは、初歩から習得されたい方は是非この機会にご参加下さい。希望日の3日前までに図書館(担当:大前 内線 2422)までご連絡下さるようお願いいたします。第1回目は8月24日(火)から開催いたします。

なお、初歩的な端末操作からでも説明いたしますので奮ってお申込み下さい。

### 記

曜日	時間帯	ガイダンス内容	時間
毎週火曜日	14:00 14:30	目録検索(OPAC):学内蔵書の探し方	30分
毎週火曜日	14:30 15:10	OVID版データベースによる文献検索(MEDLINE他)から学外文献申込方法まで	40分
毎週木曜日	14:00 14:30	目録検索(OPAC):学内蔵書の探し方	30分
毎週木曜日	14:30 15:10	医学中央雑誌による文献検索から学外文献申込方法まで	40分

## 特別開館時間利用上のお願い

特別時間帯の利用にあたりましては、次の点にご注意願います。

- ( 1 ) 夏季休業期間中は特別利用時間帯の利用時間が 17 時 15 分からに変更となっております。利用者の皆様は必ず一度 17 時までには図書館から退館して下さるようお願いいたします。なお、17 時までには退館しませんと出入口が施錠され出れなくなりますのでご注意ください。
  
- ( 2 ) 退館にあたりましては、手荷物などを置いたまま退館しないようお願いいたします。なお、紛失につきましては図書館では一切責任が持てませんのでご了承下さい。

## 雑 誌 紹 介

### 新規受入

- |                              |              |       |
|------------------------------|--------------|-------|
| ・ Japanese Health Psychology | No.6 (1998)+ | 附属図書館 |
| ・ 福島県立医科大学看護学部紀要             | No.1 (1999)+ | 附属図書館 |
| ・ サンプルング研究会講演記録集             | 12 回 (1998)+ | 附属図書館 |

### 誌名変更

- |   |                |       |
|---|----------------|-------|
| ・ Japanese Journal of Infectious Diseases                 | Vol.52 (1999)+ | 附属図書館 |
| ( 前誌名 : Japanese Journal of Medical Science and Biology ) |                |       |

## 札幌医学雑誌の投稿受付について

投稿に際しましては、札幌医学雑誌投稿規程を必ずお読みください。

投稿規程の他に、次のものを準備してください。

- 1 表紙に主任教授の印を受けてください。
  - 2 英文抄録は事前に添削を受け、添削者のサインを受けてください。
  - 3 英文抄録は、添削者のサインのあるものと、添削訂正後のものとの両方が必要です。
  - 4 30字以内のランニングタイトル（欄外見出）をご用意ください。
  - 5 本文の欄外に図・表の位置を指示してください。
  - 6 文献の最後に、別刷の請求先を記入してください。
- \* 投稿に際しましては、投稿規程枚数を厳守してください。規程枚数を著しく越える論文につきましては、受け付けられない場合があります。
- \* 集成論文を投稿される方は、事前にご連絡ください。
- \* 連絡先：総務係 永岡 茂（内線 2415 >E-mail to: nagaoka@sapmed.ac.jp）